

成長株 なぜ下がる？

2022/01/07



成長株・新興株が下落している

市場概説 > エムスリー

5,217 JPY

-2,746.00 (-34.50%) ↓ 過去6か月

1月7日 9:57 JST • 免責条項

1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初末 | 1年 | 5年 | 最大



TYO: 2413

+ フォロー

東証マザーズ指数(6ヶ月)

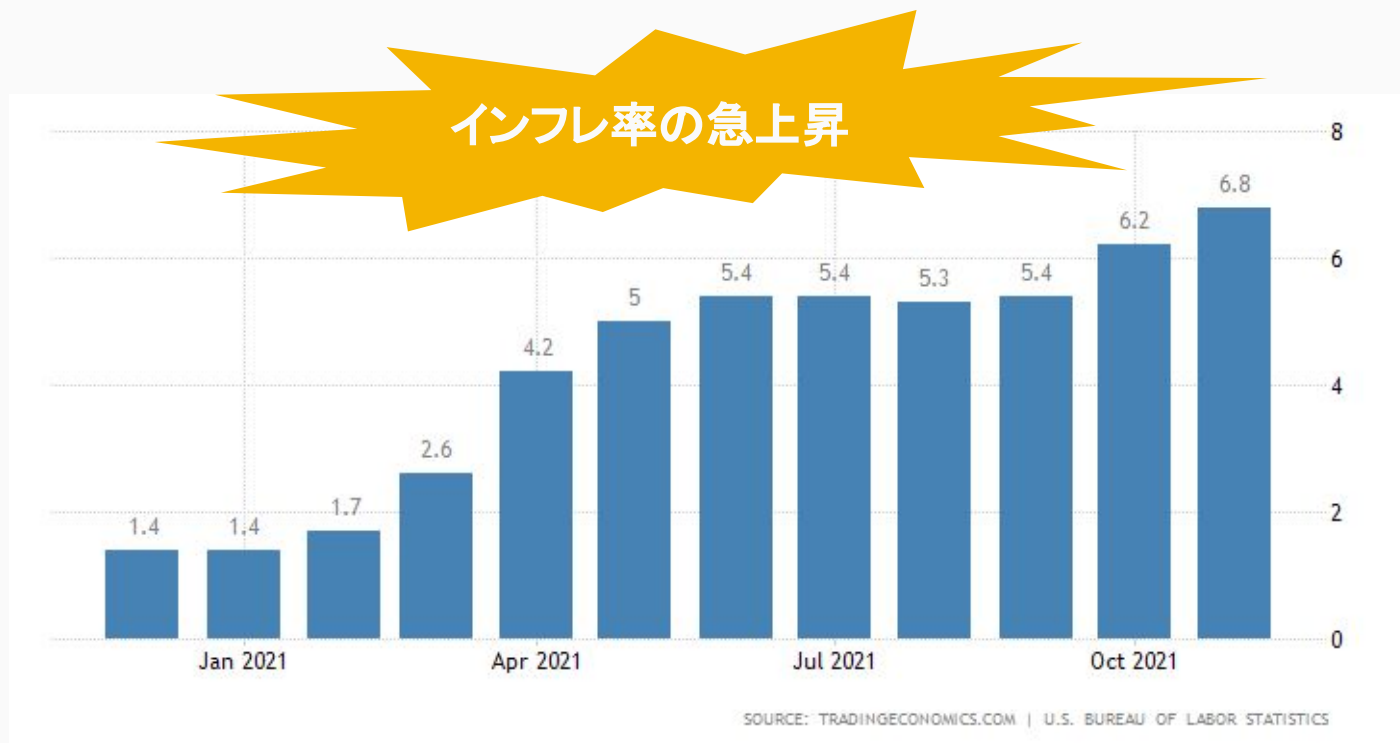


(c)Quants Research Inc.

FRB議事録「タカ派」＝引き締め

- 従来想定より早期に、**速いペースでの利上げ**の可能性
- 利上げ開始後しばらくして**保有資産の縮小**も
- 資産縮小は前回の正常時より**速く**

なぜ金融引き締めを行うのか？



なぜ金利が上昇すると成長株が下がる？

$$\text{PER} = \frac{1}{r(\text{金利} + \alpha) - g(\text{成長率})}$$

金利が3%上昇する場合…

$r=7\%$ 、 $g=5\%$ PER50倍

$r=10\%$ 、 $g=5\%$ PER20倍

 ▲60%

投資の心構え

- 割高すぎる企業に手を出すべきではないが、**巻き込まれただけ**の企業も
- 東証マザーズ指数はコロナ前の水準。**当時より業績が向上していれば**チャンスも
- **PEGLレシオ** (PER/EPS成長率) が有益

東証マザーズ指数(3年)



(c)Quants Research Inc.

PEGLレシオ

$$\text{PEGLレシオ} = \frac{\text{PER}}{\text{EPS成長率(年率)}}$$

PER30倍、成長率30%が3年続くなら…

$$\text{PEGLレシオ} = 30/30 = 1.0$$

$$3\text{年後EPS} = 2.2\text{倍} = \underline{\text{PER 13.6倍}}$$

株価ではなく
業績を見よ！

業績が今後も伸び続け、よほど割高でないなら何も問題ない

つばめ投資顧問のパイロット運用



1

波乗り銘柄

【1～2年】好調が見込める企業・業界



2

激安銘柄

【3～5年】過度に割安な優良企業



3

長期成長銘柄

【10年以上】いつ買っても良い王道銘柄

つばめ投資顧問のサービス

パイロット運用

週次レポート

無料相談

会員限定セミナー

※銘柄相談、面談は別途有料

30日間 15,000円

入会金 ~~30,000円~~ → **15,000円(1/31まで)**